ピーアーク コーポレートブック

Fun for Life

特集 みんなで、次のワクワクへ。
一客再来・次世代の最強モデルを

P対談 Fun & Run
原 晋 氏
青山学院大学
体育会 陸上競技部監督

vol. 13

特集

みんなで、次のワクワクへ。

～一客再来・次世代の最強モデルを～

日本経済は、政府や日銀の金融政策による円安・株高を背景に、企業業績も回復基調で雇用環境も改善され、日経平均株価も２万円台にとどくなど、デフレ基調から緩やかなインフレへと経済成長のベクトルが反転しつつあります。

しかしながら、パチンコ業界は依然として参加人口が減少傾向にあり、市場規模は1円パチンコなどの低価格業態の普及や、根強いファンに支えられたことでほぼ横ばいで推移しています。

このような環境下、昨年8月に開業した「ピーアーク ピーくんガーデン」は、ワン・トゥ・ワンマーケティングの深耕によって順調に顧客支持を集め、地域一番店の存在感を日々更新しております。この店舗では多様な業態モデルの一つとしてコミュニティルームを地域に開放し、新しいピーアークファンの創造を実現しています。パチンコをしない地域の方々もピーアークと繋がる新たなお客様という「トラストモデル」の概念でFun for the Areaを追求しております。

成熟した業界環境にあっても、ワンモデルでない事業体制の中には必ず「増客へのヒント」があり、それを「見つけては、試すこと」の繰り返しが、唯一新しい需要の創造に繋がるものであると確信します。

さて、この4月よりスタートしたTVコマーシャルのメインコピーは「みんなで、次のワクワクへ。」です。これは、お客様がワクワクドキドキするようなハッピーサプライズをたくさん提供し、そして「WOW!（ワォ!）」と言っていただけるような遊技プロセスの商品化やサービスを、全社員参画型営業で「次から次へと打ち出していく」ピーアークグループの強い意志表示でもあります。

今年度はいよいよ第9次経営計画「オール・チャレンジ・ピーアーク」の最終年度となりますが、経営方針に「一客再来・お店の期待価値創造で最強のチャレンジ・カンパニーを実現する」を掲げ、お客様の期待価値創造に挑みます。「創造」するエナジー、「挑戦」するスピリット、そして「熱意」のパワーは「一客再来」そして、「最強モデル」への導火線となることでしょう。ご期待ください。

ピーアークホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長 庄司正英

～地域のFunを育てる～ ピーアーク コミュニティルーム

ピーくんガーデン

コミュニティガーデン　担当者：加藤千晃（かとうちあき）

◎コミュニティガーデンの特徴は？

“公園”に近い感じですね。パチンコホールに併設されていますが、コンビニ・ドッグサークル・パチンコホールどこからでも自由に入ることが出来るのでとてもオープンな雰囲気です。

◎どんな方が利用するの？

７～８割がママさんです。ママ会やお誕生日パーティー、手作りアートのイベントなどでご利用いただいています。男性は、セミナーなどビジネス利用が多いですね。使われ方は無限大で幅広い年齢層の方々にご利用いただいています。

◎コミュニティガーデンの利用内容を教えて！

大きく分けると【イベント】【講座】【集会】の３つです。イベントは、ここの水耕栽培スペースで育てた野菜を食べる水耕パーティ、お笑いライブや雑貨販売などです。講座は犬のしつけ教室やアンチエイジング、キャラ弁講座などが開催されます。集会は、地域の打合せや誕生日パーティー、クリスマス会など“お部屋”としてご利用いただいています。

◎加藤さんのこだわりポイントは？

全ての方が過ごしやすい空間であるように配慮することですね。“公園”としてオープンな状態である分、お子様の手が届くところへ危ないものを置かないことやご年配の方が読みやすいように大きな文字にする等…小さな気付きの積み重ねが大切だなと日々感じています。また、入りやすい場所であるからこそ、この場所がお客様にとって初めての“パチンコホール”になることが多々あります。お客様に楽しんでいただけるよういつも笑顔でいることを心がけています。

◎お客様から頂いたお声を教えて！

印象的だったのが、幼稚園に入る前にここを利用していたお子様が入園後に私に制服を見せに来てくれたことですね。お子様の手にはきっと道端で摘んできたであろうタンポポが握られていて、私にそれをくれたときは本当にここで働いていてよかったなと思いました。

◎今後やってみたいことは？

近い目標だと、屋台を準備して地域の方が集まれる夏祭りを屋上で開催したいです。開催するまでには課題が山積みですが、またお客様にも協力していただきながら楽しんで頑張ろうと思います。

ピーくんPLAZA

シェア・プラザ　担当者：住本康栄（すみもとやすえ）

◎シェア・プラザの特徴は？

生活の一部みたいに普段の生活の中で利用出来る場所です。この場所は、パチンコホール・カフェ・飲食店を含む複合施設の一部で、それぞれが独立したスペースであることも使いやすさの理由ですね。お客様の「もう一つのリビング」を目指しています。

◎どんな方が利用するの？

男女比率は同じくらいですが、年齢は 20 歳～約 80 歳まで幅広い層のお客様にご利用いただいています。
友達の紹介や口コミでご利用される方が多いので初めての方も気軽にご利用いただけます。

◎シェア・プラザの利用内容を教えて！

女子会やママ会などの集まりはもちろん、法律相談やマインドセミナーといった講座開催などビジネス利用の方もいらっしゃいます。最近はご当地物産を扱うマルシェも人気です。健康管理に役立つ栄養セミナーや健康相談が出来るピーくん保健室も開催中です。

◎住本さんのこだわりポイントは？

お客様との間に壁を作らないことです。疲れたときは「疲れたよ～（笑）」と言えるくらいの距離感を大切にしています。もちろん TPO に合わせて対応は変えますが、お客様は私を“スタッフ”ではなく、“住本さん”として認識してくださっているので仕事としてよりも、人としてのお付き合いを大切にしています。

◎シェア・プラザの担当でよかったなと思うことは何？

ある日新規で部屋の利用を申し込んでくださったのに、予約がいっぱいでご希望にお応えすることができずそのまま音信不通に…。申し訳ない思いのまま数か月たった頃、別のご利用者様の付添いの方と名刺を交換した時にふと名前を見ると見覚えがあって…「もしかしてあの時の…？」と伺うと「覚えててくれたんですね！あのときは丁寧な対応をありがとうございました。」とおっしゃって下さったんです。それからお客様とお話しするようになり今も良い関係を続けさせていただいています。必然の繋がりってあるんだなぁと感じた瞬間でしたね。

◎今後やってみたいことは？

ピーアークで働いているからこそ受けられるスタッフ向けの講座を開催出来たらいいなと考えています。地域のお客様との関係が広がってきたので、今度は社内とそのお客様を繋げるような活動が出来ればいいなと思っています。

コミュニティガーデン

チャリティーバザー
平野裕子 様

◎チャリティーバザーを開催されているそうですが、始めたきっかけを教えて下さい。

先日初めてこちらで開催しましたが、使い古しというよりは、使っていないブランド品や衣服など、少し高級なバザーを目指しました。「足立区で高級なバザー？」と最初は笑われてしまいました。私は、北千住で洋服や雑貨のお店をやっているのですが お客様や友人から寄付していただいた品物をバザーに出品し、売上を全て足立区内で子供たちや子育てを支援している団体にお渡しいたしました。最近、子供が被害にあう事件の多さや貧困格差など気になっていましたので 損得なしに活動なさっている方々のお役に少しでも立てればと思いました。

◎素晴らしい活動ですね！ピーくんガーデンをもともとご存知だったんですか？

私はやらないのですが、パチンコ屋さんだということは知っていました。ある日北千住にあるバーのマスターから、「すごくいいスタッフがいるから行ってごらん」と紹介を受け、何度か来た時に利用者様たちがここを楽しそうに使っていて、この場所が地域に根付いていることに感銘を受けました。

◎実際に開催してみていかがでしたか？

商品集めに苦労しました（笑）当日は沢山の人が来てくださりすごくホッとしました。わざわざ会いに来てくれる方も居て、こんな風にお客様が好きなものを買って満足していただいたそのお金が役立つなら嬉しいです。

◎今後もっと活動が広がっていくといいですよね。

そうですね。バザー当日の朝準備していると、まるで遊園地のように並んでいるお客様に驚きました。ピーアークさんだからこうなんでしょうね。この場所で【ピーアークでの時間】を楽しんでいる方の年齢層の広さは他のパチンコ屋さんにはないものだと思います。私は小売業ですが、「うちで買ったギフトを手に取ったお客様に喜んでいただきたい！」と思う気持ちとピーアークさんの「地域の方やお客様にピーアークで過ごす時間を楽しんでいただきたい！」という取り組みって同じですね！次のチャリティーバザーやお客様が楽しめる企画を考えながら続けていきたいと思います。

（株）ベニヤ ファッション&雑貨 紅屋 choice
ホームページ：http://be28.com/
Tel:03-3888-6759

シェア・プラザ

鍼灸・按摩マッサージ指圧師
太田耕奨 様

◎初めまして。どんなお仕事をされているんですか？

訪問診療と併せてこのシェア・プラザで診療を行っています。

◎なるほど。太田さんの治療の特色はどういったところでしょうか。

指圧は、力任せではなく奥までじわ～っと効くところでしょうか。鍼も筋肉に直接刺すのではなく、ツボに触れて心地よい感じで体を治すことに注力しています。東洋医学の考え方で、身体全体のバランスを見ながら一人ひとりに合わせて調整していきます。やっぱりいらした人は治したいというのが僕の心情なんです。治療院名の「癒道（ゆどう）」という名前の由来でもあるんですよ。何をしても体の不調が治らないと感じている人には一度お越しいただきたいです。

◎どうしてシェア・プラザで始めたんですか？

もともとピーアークさんは知っていましたが、SNS でこの場所を見つけてありがたかったですね。こういう場所が使えるなら「自分で独立してやろう！」と今年の２月頃に開業しました。ここを使わせていただいているんで、僕がこういうマッサージを開くことでここのイメージアップにも繋がるといいなぁって思うんです。

◎ありがとうございます。そんな太田さん自身の“楽しみ”といえば何ですか？

最近は古流空手の型ですかね。東洋医学って昔ながらの治療法なので、昔の人の体の使い方を知ることで何か役立つかなと思いまして。身体の動かし方とか仕組みとか好きなんですよね、ほんとに。だから仕事もすごく楽しいです！

◎なるほど。その雰囲気が太田さんから伝わってきますね。今後の展望を教えてください。

将来は自分の治療院を持ちたいと思っています。知り合いの方に紹介していただき、来月から老人施設にも出張で行くことになりました。そういう縁で活動が広がったりするので、繋がりを大切にしていきたいですね。

▶インタビューアーも太田さんのマッサージを体験！むくみが楽になりました♪

癒道おおた鍼灸治療院
ホームページ：http://yudo-ota.jimdo.com/
お問い合わせ・ご予約
Tel 090-7768-6965　Mail:yudo.ota.yoyaku@gmail.com

コミュニティガーデン

犬のしつけ教室
高部としみつ 様

◎高部さんについてお聞かせください。

犬が大好きで、大学で動物学を学びドッグインストラクターになりました。普段は行動学に基づいた犬のしつけ教室や高齢者施設へ犬の派遣などを行っています。子供向けには『動物を介在する』ことをテーマに動物教室を行っています。動物はよく癒しと言われますが、動物にただ触っておしまいではなく、あくまで動物をきっかけとして様々なことに興味を持ってくれればという想いで活動しています。

◎名刺にも開催場所の１つとして記載していただいていますが、ピーくんガーデンで開催することになったきっかけは何ですか？

この場所で講座を開催している方との繋がりです。スタッフさんにもポスターなどを作成していただき感謝しています。この辺りには犬のしつけを行える場所があまりないので結構人が集まります。設備的にも駐車場やドッグランもあるし、ここに犬を連れて入っていいっていうのがすごく画期的だと思います。あまりこういう施設はないのでこの場所で出会って親しくなっているお客様達を見ているとすごいなぁと思います。

◎高部さんはお客様同士を繋ぐ役割も担ってくださっているんですね。この仕事の魅力はどんな部分だと思いますか？

最初深刻な顔をして「うちの子が本当に大変なんです。」と相談に来たお客様が少し続けていくと「今すごく楽しいです！」と言ってくれたときは嬉しいです。悩みの解決だけじゃなく、「一緒に楽しめることにチャレンジしてます。」というのを聞くと「あぁ、よかったなぁ。」と思いますね。

◎今後チャレンジしたいことはありますか？

保護犬に興味がありますね。ああいう犬たちを自分の持っているスキルで救うことが出来たらと思っています。大変ですけど本当に飼いますか？という意味を込めて、これから犬を飼おうと考えているプレオーナーの講座にも繋がっています。今は難しいですがもう少し余力が出来てくればそっちに力を入れていきたいですね。

こども動物教室　アニマルシップ
ホームページ：http://www.animalship.net/
Tel/Fax:03-5888-5455　Mail:contact@animalship.net

シェア・プラザ

らくご紙芝居
逆襲亭ゴジラ 様

◎こんにちは。逆襲亭ゴジラさんについて教えてください。

シェア・プラザではらくご紙芝居や朗読のワークショップを開催させていただいております。私は落語も紙芝居も好きで、この２つをコラボさせたら面白いと思ったのです。その他に歌謡講師やフォトグラファもやっています。

◎なるほど。シェア・プラザを利用するようになったきっかけは何ですか？

SNS です。丁度手頃なレンタルルームを探していました。ワークショップは最初の告知に苦労するので、こういう場所の PR が行き届くと便利だと思います。

◎利用してみていかがでしょうか？

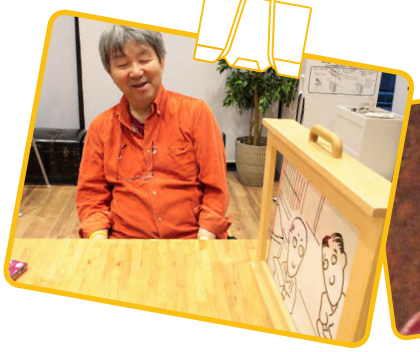
紙芝居も朗読も、肉声で届くのは５m 位、人数だと 20～30 人が限界なんです。演者の息づかいまでもが伝わる人数ですね。それ以上集まると、マイクやプロジェクターに頼ることになり、アナログ的な魅力というのは半減してしまいます。その点この場所は、広さ的にもちょうどいいですね。

◎それがゴジラさんのポリシーなんですね。

そうですね。お客さまに「面白かった」と言っていただけることも嬉しいことですが、「こういう結末もあっていいんじゃないか」とか「こっちのほうが面白いんじゃないか」というご意見を頂戴するのも嬉しいですね。お客さまの、物語を超えた空想力に立ち会えた瞬間というのは本当に嬉しいですね。

◎ゴジラさんの「Fun for Life」を聞かせてください。

私は歌謡教室もやっていますが、「歌を全く歌ったことがない・知らない・興味を持ったこともなかった、だけど一曲でいいから歌を覚えたい」という人が習いに来ます。その人たちが３ヶ月後に一曲歌えるようになり、１～２年いるうちに何曲か歌えるようになるのを真近で見ているのはまさに感動ものです。これらの活動は一生続けていきたいと思います。



らくご紙芝居　逆襲亭ゴジラ
らくご紙芝居・朗読サークルの会員様募集中！
Tel:070(5453)6287　Facebook：逆襲亭ゴジラ

インタビュー後記

今回は竹の塚のシェア・プラザ、ピーくんガーデンのコミュニティルームをご利用の４名にお話を伺いました。共通して感じたのは、皆様がそれぞれの目的をもち、思い思いの活動をされているなかで楽しみながら繋がりが拡がっていき、この場所が生活の一部分になっているということでした。これからも皆様の活動でもっと“ワクワク”が繋がるよう応援していきたいと思います。

ピーアークCMギャラリー&メイキング

今年の新 CM は「みんなで、次のワクワクへ。」
前回の CM キャッチコピー「いつも、次のワクワクを。」からさらにパワーアップして、
みんなのワクワクが溢れる様子を表現しています。さあ、出かけましょう。
ピーアークと、次のワクワクへ!

CM ギャラリーは
こちらでチェック♪
http://www.p-ark.co.jp/special/cm.html

CM Making

僕のWOW! 私のWOW!

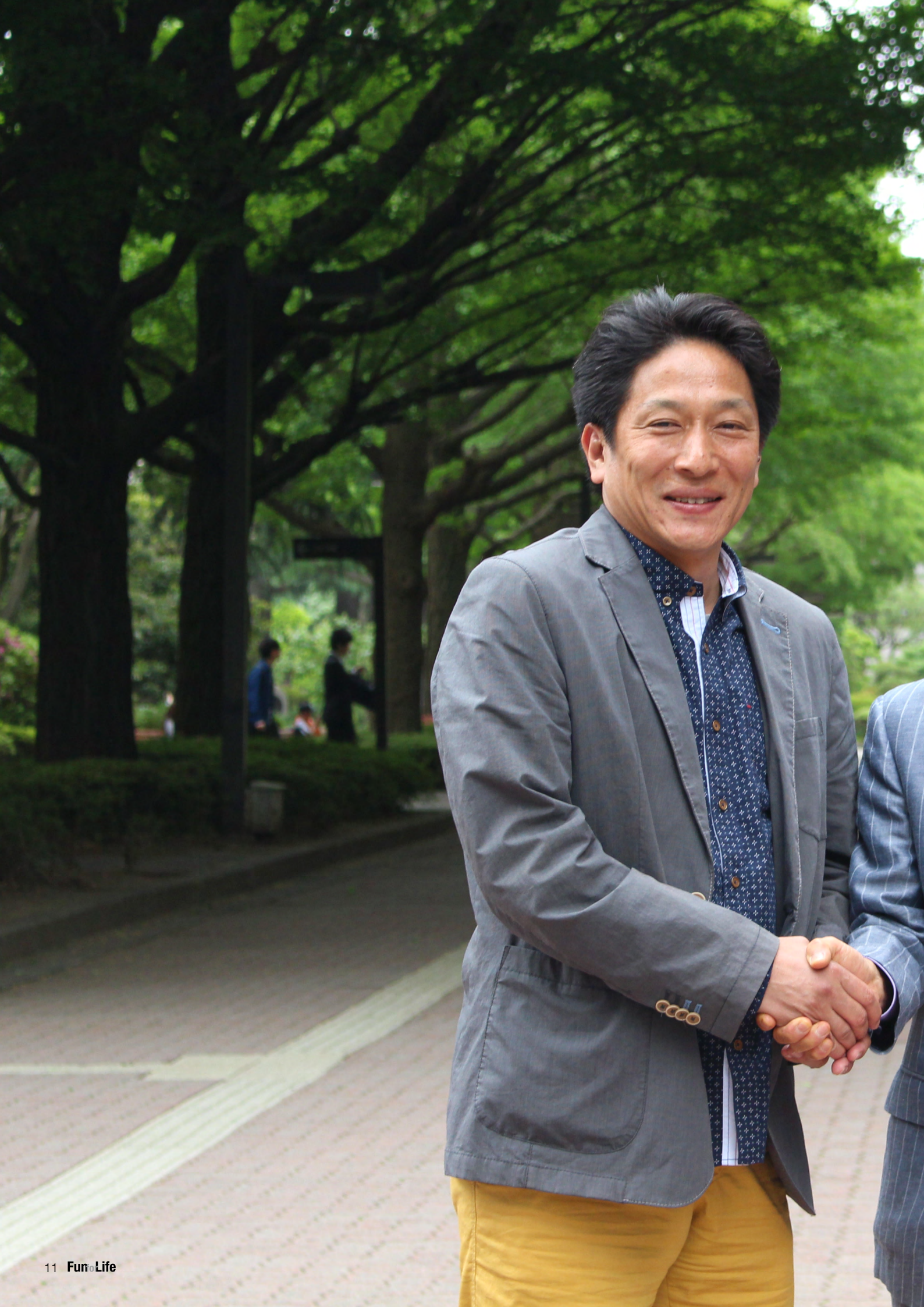
新CMがスタート!ということで、みんなのWOWな顔写真や、見ると思わず「WOW!」と言いたくなる写真を集めてみました。

P対談

Fun & Run

～みんなで、次のワクワクへ。～
青山学院大学 体育会 陸上競技部監督・原 晋氏を迎えて

記憶に新しい箱根駅伝歓喜のタスキリレー。
青学駅伝部を初の優勝に導いたのは、サラリーマン出身の異色の指導者。
自分も楽しみながら見る人を楽しませる「ワクワク大作戦」で陸上界の常識に立ち向かい、
選手と夢を共有しながら新しい陸上界の形を追求する原監督に、
ワクワクの秘訣やこれからのビジョンについてお話を伺いました。



ピーアークホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長
庄司正英

×

青山学院大学
体育会 陸上競技部監督
原晋氏

P対談 Fun & Run ～みんなで、次のワクワクへ。～

ワクワクしながら練習させる

庄：本日はP対談にご登場いただきありがとうございます。昨日も夕方のニュース番組で原監督の「ワクワク大作戦」や、町田市にある陸上部の寮の様子を拝見しました。箱根駅伝を制した青山学院・原監督語録はとてもユニークな視点で、選手育成は陸上界の新たなバイブルでしょうか。今日はとてもワクワクした対談になりそうで期待値は最大です。

さっそくですが、ピーアークはパチンコ業界の旧弊をイノベーションしながら時間消費型レジャーとしての業態を確立してきたと思っております。そのような経験から、原監督の陸上競技への新たなアプローチ、「ワクワクしながら練習させる」は画期的なイノベーションだと思いました。最初に、原監督は今までの陸上競技の常識論とどう戦ってきたのか、お伺いしたいと思います。

原：私自身は10年間陸上界から離れてサラリーマン生活を送っていましたが、この業界は私の現役時代から何一つ変わっていなかったんです。私の考え方の根底には、「社会があって陸上界がある」、パチンコもそうだと思いますが、世の中の皆様に理解されてパチンコ業界があるのであって、陸上界も社会の常識に照らし合わせたときに理解を得られるのか？とか、あるいは陸上をやっている学生が社会に出たときに、陸上を通じて学んだことが全く活かされないのではおかしいという所がまずベースにあって、そういう考え方の中でいろんな切り口を考えた中のひとつが「ワクワク大作戦」でした。

庄：ピーアークの商いの基本は「パチンコ業界の常識はお客様の非常識」というところからスタートしているんです。お客様の損がお店の得というような業界の常識論に対し、一つひとつ改革を挑んでいきました。その代表格が「パチンコは出玉がすべて！」というチープな常識論でした。私は時間消費型の付加価値をつけて、景品を取れなくても納得して楽しんでもらえるようなビジネスモデルを目指そうと考えました。ところで、陸上界の宿弊とはどんなものだったのですか？

原：もともとの陸上界というと修行僧のごとく、喋るな、あまり人と関わるな、食事も雑談はせずに黙々と、自分自身との戦いなんだ、それがある意味常識だった訳です。そして、たとえ優勝してもビッグパフォーマンスなんかしてはダメ、自己ベストが出てちょっと喜んだら、何のぼせ上がっているんだ、有頂天になりすぎじゃないかというような風潮なんですよね。でも、我々は修行僧になりたくて陸上競技をやっている訳じゃなくて、やっぱり究極は褒められたいとか自慢したいとか、人間本来の欲ですよね。かっこいいと言われたい、いずれはプロの実業団に入りたいと考えるのは普通のことなのに、抑えられている訳ですよね？それはやっぱりおかしいと感じましたので、学生達には言葉を大切にさせ、自分の言葉で発信出来るような訓練をさせています。

庄：Ｆａｃｅｂｏｏｋの今日の一言などですね？

原：そうです。頑張ったときには「僕やりましたよ！頑張りました！」というのに対し、「おお、そうか！よく頑張ったな！」というような雰囲気を作ってあげたいし、1万メートル走では全員が29分を切らなければチームとして優勝は狙えないのですが、そういうタイムは全員が出せる訳じゃない。いつも30分台の子が仮に29分50秒になって喜んでいたら、昔の指導者なら、まだまだのくせに何のぼせ上がっているんだとやりがちですけども、私は、「よく頑張ったね！じゃあもう一回29分を目指して、いつかはチームのレギュラーになれるように頑張ろう！」と言いますね。それ一つもある意味、チーム育成の改革なんですかね、私は当たり前だと思っているんですけど。

庄：でもそれが今までなかった訳だから画期的です。そもそも論で、記録だけを追求するような練習は成果を上げられていたのでしょうか？

原：一方通行的な指導者と学生の関係は、選手にとってある意味で楽なんです。言われたノルマだけやればいいですからね。それに、一時的には伸びる速度は速いんです。だけど次のステージに行ったときに燃え尽き症候群になってしまう。こっちの監督なら伸びるけど、別の監督の指導では伸びないということが度々発生する訳です。私は、誰が監督になってもその子が自発的に取組む訓練をしていれば成績は伸びると思いますし、陸上で学んできたことが社会に出ても役立つような仕組みを作りたいというような所が、他の指導者と違う所だと思います。

感動を与えられるチームに

庄：まさに指導観のイノベーションですね。私もかつて接客サービスはマニュアルの問題だと思っていました。しかし、ある一定レベルになるとマニュアルだけではお客様の満足は得られなくなって不満に転化する。だから今は、社員それぞれの特性を独自のサービスに特化し、ワン・トゥ・ワンでお客様が喜ぶサービスを提供することが本当のサービスだと考えます。私たちの企業理念は「お客様の期待価値を創造すること」ですが、根底は全く同じだと思います。

原：僭越ながら誠に良い経営感覚をお持ちだと思います。まさに社長のおっしゃるとおりで、私も部が立ち上がった当初から自由に好きにやりなさいと言っている訳ではありません。例えば、陸上界では規則正しい生活リズムというのが根底にありますからね。ですが、それと同時に私自身のビジョンや夢を選手たちに伝え続けてきました。例えば、「人から感動をもらうのではなく、人に感動を与えることの出来る人間になろう、あるいはチームになろう」ということ

こちらで全部やらせてたら優勝はもっと早かった。でも、あの笑顔のタスキリレーはなかったでしょう。

をずっと言っています。それに対する答えはいろいろある訳ですが、創部から12年で成熟してきて、一方通行的な指示型の指導から投げかけの指導に進化してきたことで、ようやく社長のおっしゃるような、学生たちが自分で臨機応変に考えられる環境が整い、マニュアルではないものが出来てきたなという実感がわいてきました。

庄：そうですか、経営もビジョンがあってのマネジメントです。ピーアークの目指す感動消費型レジャーも、お客様それぞれ要求が違うわけで、マーケティング的にどうやってそのバリエーションを広げていくかは、やはりスタッフ自身の頭の中でしか出来ないんですね。その基本軸は孔子の「努むるは好むに如かず、好むは楽しむに如かず」要するに、努力しても好きでやっている人には敵わない。だけど、楽しんでいる人にはもっと敵わない。こういう人間の本質的な事柄をうまく取り入れていくことが大事だと思いますが、陸上界でそれを取り入れたのは原監督が初めてじゃないですか？

原：ありがとうございます。やはり、自分自身の気持ちで走らせるということを常に訓練してきたという自負が私の中にはあって、これは逆に私自身が横着だったから出来たとも思います。指示待ちの学生にならないように、ある程度距離感を保ちながら、失敗しても、時に裏切られるようなことがあったとしても、彼らが実践に目覚めるためにどうしたらいいかというのを考えた結果なので、やはり時間はかかりました。もしかしたら、YES、NOをこちらが全部整理してやらせていたら、優勝はもっと早かったかもしれません。けれども、それでは箱根駅伝優勝の笑顔のタスキリレーだったり、あるいは補欠に回った子たちが皆で和気藹々となれる雰囲気は出来なかったと思います。時間をかけて常に、人から感動をもらうのではなくて、与える人間・チームになろうということを訴え続けてきた結果でしょうか。

庄：先日のテレビ番組でも、選手たちがハツラツとしていて、それぞれの個性が存分に伝わってきました。

原：これも、今までは選手の言葉に対して、「お前そんなこと言うなよ」とか、「何ふざけたこと言っているんだよ」と止めるような所がありました。でも、提案してくる若者に対して同じ目線で、面白いねとか、良いアイデアだね、もし視点が少し違ったら、これはこういう問題点があるんじゃないの？というような切り替えをしてあげないと、最初から「何ふざけたこと言ってるんだ」なんて言えば、選手はシャットアウトして提案を言ってこなくなりますよ。その差じゃないかなぁ。

前向きな失敗こそ進化につながる

庄：そうですよね。当社の今期の方針は「最強のチャレンジ・カンパニーを実現する」で、

「好むは楽しむに如かず」。人間の本質的な事柄を取り入れていくことが大切

特に若手社員にはどんどんチャレンジを促しています。社員が提案するお客様のためのアイデアを積極的に会社が買う「ワクワクチャレンジ」という取組みもやっています。

原：会社が社員のアイデアを買うんですか？

庄：そうです。CMも始まっていますが、「ハッピーサプライズぞくぞく！みんなで、次のワクワクへ。」が今期の大きなテーマで、そういうチャレンジを具現化するために若手社員に自ら企画提案させ、承認した企画には会社から予算を出しますという制度です。4月から始めましたが、1か月弱で90件以上の案件が上がってきました。

原：それはすごく良い取組みですね。私自身、生徒たちには私が止めに入るくらいの感覚の発想でいろんな所で戦いなさいと思っています。自分の言葉を持つことはすごく大切なことですが、一方で今日の若者はなかなかそういう戦いモードというか提案モードになりづらい。残念ながら現在の日本の基礎教育の欠如している部分ですね。だから僕は高校などの講演会に行った際には、積極的に物は申せと言っています。愚痴を言うのではなく、論理立てて理屈を持ってちゃんと物申しなさいというようなことを、若者に熱く語っています。

庄：なるほど。ところで、選手の個性というのは駅伝の区間選びにも絡んでくるのですか？

原：やはりありますね。往路のレース展開は速いですし、前後の差も狭まった中でいきますから、エースとなる力のある子が必要だし、闘争心のある子、負けず嫌いの子、攻めの気持ちが持てるといったところが往路起用の材料になりますが、復路はどちらかというと前後の差が開くので、ある意味自分のペースで刻める子というような棲み分けが出来ると思います。

庄：やっぱりトップを走っているとより力を発揮するものですか？

原：そうですね、やはり注目を浴びると、皆テンションが上がりますから。各大学では箱根駅伝前の練習はマスコミをシャットアウトする傾向がありますが、私はあえてマスコミに来てもらうようにしました。選手のモチベーションアップ、あるいは、プレッシャーのかかった中でもしっかりとした走りが出来るようにする必要がありますからね。日頃からマスコミがいつもいれば緊張することもないんです。

庄：チームワークはどうですか？

原：とても良いですね。部屋では上級生とペアで生活しますが、入部したての一年生は勝手がわかりませんからいろんな失敗をします。当然本人に原因があるんですけど、それを失敗させた上級生の指導にも課題があるんだと私は指導しています。けれども、大前提として人間は失敗するのは当たり前。だから、前向きな失敗はどんどんしなさいといつも言っています。

庄：むしろ、その前向きな失敗を評価しな

いと新しい進化は出てこないですよね。原監督の指導スタイルはサラリーマン時代に培ったノウハウが元になっていると聞きましたが、営業マン時代の「提案型営業」とはどういうものですか？我々でいうと、Ｗｉｎ－Ｗｉｎの関係、相手も喜ぶしこちらも嬉しいというような感じでしょうか？

原：そうですね。自社商品のカタログを見せて「これはいいですよ」というのは提案じゃないですよね。「これを使うことによってあなたはこんなに幸せになります、こんなメリットがあります。」ということを常に考えてあげることが大切で、パチンコの話でいうと、せっかく会員カードを作ってもらってデータがある訳だから、誕生日におめでとうございますと一言かけてあげるだけでお客様はドキっとしますよね。そういうことです。

庄：ワン・トゥ・ワンの仕組みの中で、実はそれはもうすでにやっておりますね。その他にも、そのお客様に適した遊技台や景品を提案して個別対応させていただくことが出来るので、会員カードシステムでお客様に対するアプローチが全く変わってきたと思います。

原：パチンコホールも進化しているんですね。私が大学1年くらいの時のパチンコ屋は失礼な話、することがないから表回りでもやるかという雰囲気で、タバコの煙がモクモク、至る所にゴミが落ちているのが普通でした（笑）。

庄：その頃のパチンコは今とかなりイメージが違いますよね。当時、パチンコはどのようなきっかけで始められたんですか？

原：当時は部活動をやっていたんですが、みんなでわいわい遊んでいる途中で練習に行くよとは言いづらいですよね。例えば麻雀だったら途中で抜けるわけにもいかない。でも、パチンコは一人でも出来るレジャーじゃないですか？一人でフラッと行ってフラッと帰れる、だからやっていたんだと思います。今は忙しくてなかなか行けませんが。

庄：どのようなタイプの台がお好きでしたか？

原：主にフィーバーでしょうか。当時パチンコは打ち手側に戦略があったんですよ。出目の法則があったじゃないですか？今でも覚えていますが、この数字の次はこの数字で揃うとか、7回終わったら最後は1で揃うとか、打ち手側に戦略があったんですよね。ただ勝つことよりも、戦略を立て攻略するのが楽しかったですね。

庄：それはもはやプロ級ですね。生涯成績はプラスでしょうか？

原：それがそう上手くはいかないですよね（笑）。しかし、今のパチンコホールは当時と全く違いますね。儲けることばかり考えてお店の雰囲気なんてどうでも良いという経営者が退場していった結果、それでピーアークさんのようにいち早くオシャレで快適な空間にしていったお店が伸びてきたんじゃないですか？

原動力は選手たちの夢

庄：ありがとうございます。でも、これが業界の常識になるまでが大変でした。既得権がある人たちは抵抗しますからね。

原：そうですよね、私たちの世界も同じで、今までにない指導方法を取り入れると抵抗するんですよ。でも根底に、学生を幸せにしたい、本当の笑顔を見せたい、箱根駅伝に出て本当の喜びを味わわせたいというのがあるから戦えるんです。これがないと戦えないです。自己満足の世界で戦っても、誰もついてこなかったと思います。学生は何十人もいましたし、どんどん増えていきましたが、全員が全員私の味方だった訳ではありませんでした。だけどみんな、箱根駅伝に出たい、そして箱根駅伝で戦いたい、喜びたいというのが根底にあって、それを叶えさせてあげたいというのがあるから、多少の困難でもブレずに挑戦し続けることが出来たんだと思います。一旦ダメと言われても、信念を貫いて言い続けることが出来た。そういうことですよ。

庄：来年の箱根駅伝もぜひ頑張っていただきたいですね。次は「コカ・コーラ大作戦」とお聞きしましたが？

原：遊び心で言っているんで、実は真剣に考えたことはないんですが（笑）。一つのキーワードとして、私が今年学生たちに伝えたテーマは「漢気」なんです。外野からは連覇とか三冠とか言われますが、それが先にあるといろんなプレッシャーやしがらみが出てきますよね。私は学生達に「漢気あるチームを作ろうね、漢気ある男になろうね。」と伝えて、さて漢気とは何かというのを調べなさいというといろんなキーワードが出てくる訳ですよ。約束を守るとか、後輩の面倒を見るとか、時間を大切にするとか。その中の一つでもいいから自分の物にして、それを陸上に置き換えてみんながやってくれたら結果として成績は上がりますよね。その結果として連覇や三冠が付いてくる。そんなように、ペットボトルの中身が勢いよく噴き出たいという気持ちを作って、それをタイミングを見極めてポンっと開けることで出力が１２０％に近づくんです。魂が入っていないとポンっとはならないですから。

庄：まさに言葉通り、気が抜けていたらダメということですね。今ありました「漢気」というキーワードが印象的ですが、そういう、周りのものの期待価値を高めてワクワクさせるようなキーワードを見つけるコツなどはあるのですか？例えばお気に入りの書籍があるとか？

原：実は、本は全く読まないんですよ、テレビも見ないですし。ただ、相手を喜ばせようと思ったらどうするか？とか、相手にこの男なかなか面白そうなヤツだなと思わせるにはどうしたらいいかとか、それは常に考えていますね。ポイントはと言うと「素

の自分を出す」ことですかね。誰に対しても繕ってゴマをするようなことはしません。素の自分を出していく、そうすることで相手が喜ぶ言葉とか、相手がその気になる言葉が自然と出てくるんじゃないですかね。だって、繕ったりゴマする人って分かるじゃないですか？私はいつでも全力投球、それで嫌われたらしょうがない、縁がなかったと。万人に受けようとしたらダメなんですよ。私はそういう風に生きてきたのでそりの合わない方も多いですが、味方となってくれる方もたくさんいます。

庄：最後に監督の「Ｆｕｎ ｆｏｒ Ｌｉｆｅ」を教えてください。

原：そうですね、やっぱり陸上界の人だけに楽しんでもらうのではなくて、一般の方々にも楽しんでもらえるような陸上にしたいなというのがありますね。冒頭でも言いましたが、陸上界があって世の中があるんじゃなくて、世の中があっての陸上界、世の中の皆さんにどう受け入れられるかということを常に考えながら活動しています。それが結果として、小中学生がサッカーや野球ではなく陸上を志そうと思ってもらうことに繋がり、そして競技人口が増えれば競技レベルも上がってくるというような想いで私は常にやってきました。どんな場所でもいいんです、公園でも野山でも、若者たちが飛び跳ねている光景が増えるような、スポーツが文化として定着するような世の中になってほしいというのがありますね。

庄：なるほど、原監督が旧態依然とした常識論と闘いながらも、新しい価値観「ワクワク」をエナジーとして、チームの期待価値を最大化する戦略論が、私たちの経営論とも大きく重なり大変参考になりました。本日はありがとうございました。

（敬称略）

Book

魔法をかける
アオガク「箱根駅伝」制覇までの4000日
原 晋 著　講談社刊　1,200円（税抜価格）

Profile

原晋（はら すすむ）氏

1967年広島生まれ。中学から陸上を始め、高校３年時には主将として全国高校駅伝２位に貢献。89年、中国電力陸上部創設とともに入社したが95年に引退。10年間のサラリーマン生活の後、04年に青学大陸上部監督に就任。卓越したビジネス感覚で09年大会では33年ぶりに箱根駅伝出場に導き、15年大会で大学初の総合優勝を果たす。

ピーアーク presents 幕張メッセ どきどきフリーマーケット 2015

ゴールデンウィークの一大イベント「幕張メッセ“どきどき”フリーマーケット」が今年も5月3日～5日に開催されました。晴天に恵まれ、4000を超える出展ブース、手作りアートマーケットや幕張うまいもん祭り、そしてbay fmの公開生放送と、日本最大級の名にふさわしいイベント盛りだくさんの3日間となりました。今年も20万人を超える来場者に Fun for Life を届けることが出来ました。

今年のテーマは「WOW！アドベンチャー」

ワクワクドキドキ思わず迷い込みたくなるようなアドベンチャーランドをイメージしました。
サンバイザーをかぶればキミもピーくん探険隊。さぁ、冒険の旅に出発しよう♪

ピーくんのじゃんぼすろっと

毎年多くのリクエストがあったジャンボ版スロットがついに実現！アニマル柄のスロットを大きなレバーで実際に止めていきます。見事ピーくんが揃えばピーくんグッズをプレゼント！

ピーくんのてーぶるげーむ

初めましての人ばかりでも、ゲームで遊べば一瞬でお友達！子どもはもちろん、気づけば大人も本気になっちゃう熱気ムンムンのコーナーでした。

ピーくんのふしぎなすなば

粘土のように好きな形が作れる不思議な砂を使って、みんなでピーくんを作るコーナー。作品はピーくんのファンサイトで公開中！

ファンサイトで紹介している作品の一部。皆さん力作です。

ピーくんのふぇいすぺいんと

好きな場所にピーくんを描くペイントサービスは常に長蛇の列！実際に描いてもらった子どもたちは、ピーくんにも負けない笑顔で大喜び！

今年のピーアークブース どうでしたか？？

直撃インタビュー★

今年は新卒～３年目の若手社員を中心に運営しました。普段働いているホールとは違う方々との出会いに色々な学びもあったようです。そこで、実際にブースを運営した感想を聞いてみました！

猪又 諒（いのまた りょう）（H 27 入社）

良い印象をもっていただき、１人でも多くの来場者にピーアークを知っていただこうと思い行動しました。先輩社員からも普段とは違うアドバイスを頂くことが出来、貴重な体験をすることが出来ました。

細川美里（ほそかわ みさと）（H 27 入社）

一番印象に残っているのは、「休日なのでどこかに行こうと思ったけど、こどもの日だから、どこも子ども向けの行事ばかり。でも、ピーアークのフリマなら大人も楽しめると思って」と女性のお客様。ピーアークブースはどちらかというとお子様向けと思っていましたが、純粋に楽しんでくださり、また来年も来るよと言っていただけて嬉しかったです。

bayfmリポーターの佐藤由季さんと記念撮影★

門田尚之（かどた たかゆき）（H 27 入社）

昨年は内定者として楽しませていただきましたが、運営側として参加した今年は、どうすれば来場者に楽しんでいただけるかを常に考え行動しました。また、新卒でラジオ番組に出演するという貴重な体験をさせていただき、緊張しつつも聴いてくださる方がフリーマーケットに来たくなるよう心掛けて喋りました。来年は新卒社員を引っ張っていけるよう今年の経験を活かして頑張ります。

荒川結菜（あらかわ ゆいな）（H 27 入社）

普段とはお客様の層も仕事内容も異なるのでいつもとは違った難しさがあり、特にゲームコーナーではお子様に分かりやすく説明したり盛り上げるのが大変でしたが、同時に同期や先輩方と一体となれていることを感じ、自分も楽しむことが出来ました。この経験を活かし、店舗でも明るく元気に頑張っていきます。

加藤麻奈美（かとう まなみ）（H 26 入社）

２回目の参加、前回同様とても楽しかったです。何より普段会えない先輩後輩と一緒に仕事が出来てわくわくしました。仕事としてはもちろんですが、皆が一体となって楽しむことが出来た空気を忘れずに店舗でも楽しんでいきます。

肥沼希子（こいぬま のぞみ）（H 25 入社）

テーブルゲームでお子様相手にディーラーをしている際に色々アレンジを加え、みんなで夢中になって遊んでいたら、閉館の音楽が。お子様から「希子先生、また来年も来てね！」と３人で指切りしました。また来年会う約束が出来、Fun が出来ました。

松川実佐（まつかわ みさ）（H 27 入社）

皆様に笑顔になってもらおうと頑張っていましたが、私もお客様から笑顔をもらっていました。テーブルゲームでは、年齢の違うお子様たちが集まったときは、みんなが楽しめるように意識しました。お子様たちの笑顔をたくさん作ることが出来ました。このパワーを店舗に持ち帰り、店舗でも笑顔を作れるようエンタメ原人を追求していきます。

伊藤あさみ（H 27 入社）

普段からピーアークに来てくださっている方とお話したところ、お子様が楽しんでいる姿を見て、「パチンコは大人しかできないけど、子ども向けのイベントもあるのがいいね」というお言葉を頂いたり、キャップコロコロのために１年間キャップを貯めたけれど多すぎて捨ててしまったというご家族に、近隣のピーくんガーデンのお話をしたら非常に興味をもって喜んでくださったりと「家族」としてのお客様と交流しピーアークを知っていただけた非常に嬉しい経験でした。

成塚宏樹（H 26 入社）

新卒から３年目の先輩まで比較的近い年代で集まって、いかにお子様たちに楽しんでもらうかを一緒に考え行動したのが良い経験になりました。先輩や新卒の姿に良い刺激を受けました。

中村海朝（H 27 入社）

私たちが楽しく運営していると、お客様から話しかけてもらえますし、本当に楽しそうに遊んでいただけるのだと感じました。これは店舗にもつながることで、スタッフが皆楽しそうに働いている店舗には自然に人が集まるのではないかと考えることが出来ました。

米花翔太郎（H 27 入社）

たくさんの異なる年齢層の方々とふれ合うことで、年代による考え方の違いを学ぶことが出来ました。店舗ではご年配の方が多いので、店舗でどう活かすかを考えるようになりました。また、ピーアークを知ってもらうために自ら行動する指針を決めるきっかけにもなり、非常にいい経験になりました。

ピーくん

フリマには毎年来てるって人が多いみたいなんだけど、「ピーアークブースを毎年楽しみにしてるんだよ」って言ってくれる人が多くて嬉しかったですぅ。Fun for Life が着実に伝わっているのが感じられました。

もうひとつのフリーマーケット

ピーアークブースの隣でピーくんと共に盛り上がる、もうひとつのピーアークブース、「ピーくんフリーマーケット」。ここでは、ピーアークのコミュニティスペース「シェア・プラザ」「ピーくんガーデン・コミュニティスペース」の案内をすると共に、実際にコミュニティスペースを利用しワークショップ等を開講している皆さんに出展していただき、手作りの作品を販売していただきました。また、ピーくん積み木の制作にご協力いただいた大田区立「くすのき園」さんが普段制作されている素敵な木工作品を販売いたしました。コミュニティスペースの利用者様も増えてきており、単なるレンタルスペースを脱し、新たな絆を築き始めています。この繋がりが今後どんなシナジーを生み出していくのかとても楽しみにしています。

Special Thanks
大田区立くすのき園さん・パピデコさん・ryu's rule さん・ラビットローズさん・Sweet Springs さん

What's PACHINKO?

2020年のオリンピックイヤーに向けて、“外国の方にも「パチンコ」という日本にしかない遊びを知ってもらおう!!”と、様々なチャレンジを銀座のピーくんステーションで実施しています。今回は、遊びに来ていた外国の方々に、パチンコについて質問してみました。

ハンナ＆ベッキー From イギリス

Q 日本にきた理由は?
違う文化に触れてみたいと思ったの。あとご飯も!(笑) これから、大阪・京都・浜松に行く予定よ。

Q. パチンコのことを知っていましたか?
インターネットで見つけて興味があったの!

Q. パチンコはどんなイメージですか?
ホール内でたくさんの台が並んでいるのは圧巻ね!イギリスにはカジノしかないので、それよりも面白そうだと思ったわ!

Q. 遊ぶのは初めてですか?
初めてだから緊張してる(笑)

Q. 実際に遊んでみてどうでしたか?
面白い!アクションが沢山あるから、何が起こっているのかもっと知りたいわ。英語でサブタイトルなどを入れて外国人にも分かるようになるといいわね。ストーリーもそれで事前に分かるともっと楽しめたかも!もっとプレイテクニックを磨きたい!(笑)

First Time!

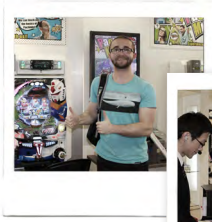
レズ From アメリカ

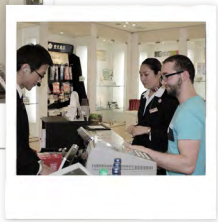
Exciting!

Q. パチンコのことを知っていましたか?
友達が教えてくれて知ったんだ。今日初めてやるよ。

Q パチンコはどんなイメージですか?
ハンドルコントロールのスキルが必要…かな?

Q. 実際に遊んでみてどうでしたか?
すごく楽しかったよ。沢山の音と光でワクワクした!
パチンコっていいね!
英語の台があればもっといいと思うよ。





シェイカ＆エンジェル＆ロイ From スペイン

ロイ

Q. パチンコのことを知っていましたか?
友達に教えてもらったんだ。

Q パチンコはどんなイメージですか?
う〜ん…ゲームみたいだね。
ちょっと音が気になるな。

Q. 実際に遊んでみてどうでしたか?
すごく悩んだよ。難しいね!問題は言葉だけだから英語の台を是非作ってほしい!

It's so difficult.

ジョナサン＆イーサン From オーストラリア

Q. 日本にきた理由は?
ジョナサン：休暇を楽しむためだよ。6日間日本を満喫するんだ!

Q. パチンコのことを知っていましたか?
イーサン：全然知らなかった!
ジョナサン：知ってたよ!日本のアニメを通じて知ったんだ!

Q. 遊ぶのは初めてですか?
ジョナサン：昨日銀座で遊んで、今日2回目なんだ。

Q. 実際に遊んでみてどうでしたか?
イーサン：楽しかったよ!当たればもっとよかったんだけど（笑）

サラ＆オリバー From イギリス

Q. 日本にきた理由は?
日本の文化に触れて経験してみたいと思ったんだよ。

Q. パチンコのことを知っていましたか?
インターネットでプレイしている人を見たり、名前だけなら聞いたことがあったよ。遊ぶのは初めて!

Q パチンコはどんなイメージですか?
人によるとは思うけど…ギャンブルだって人もいるよね。でも僕はネガティブなイメージはないよ。

Q. 実際に遊んでみてどうでしたか?
理解に苦しんだよ（笑） 玉がめちゃくちゃ速いんだ!パチンコって難しいなぁ（笑）

アンドリュー＆ステイシー From オーストラリア

Q. 日本にきた理由は?
出身はオーストラリアだけど、今シンガポールに住んでいて日本は近いからさ!
いい経験になると思って。

Q 実際に遊んでみてどうでしたか?
初めて遊んだんだけど、超面白いね!とっても楽しかったよ。
アメリカのカジノみたいにもっとシンプルに遊べるといいね!
1プッシュで出来るとかさ!

ジョー＆ローズ From オーストラリア

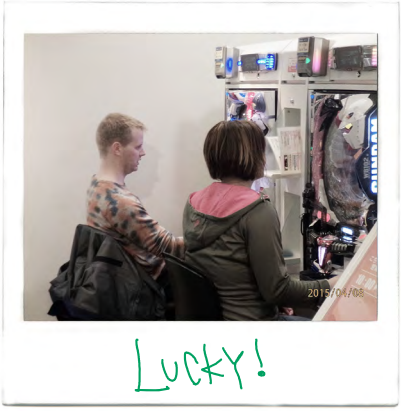
Q. 日本にきた理由は?
極真空手のトレーニングで来たんだ。

Q. パチンコのことを知っていましたか?
日本とオーストラリアの友達から聞いていました。

Q パチンコはどんなイメージですか?
楽しくて夢中になっちゃう感じかな!

Q. 遊ぶのは初めてですか?
聞いてはいたけど実際に遊ぶのは初めてですね。

Q. 実際に遊んでみてどうでしたか?
ずっと楽しかったです。当りも引けてすごくラッキー!プロフェッショナルになれそう（笑）
パチンコはこのままでも十分面白いよ!



ワクワク！ピーくんレシピ♪

ピーくんおいなりさん

材料

- いなり寿司用味付き油揚げ：1 枚
- ご飯：適量
- デコふり（黄色のもの）：適量
- 海苔：適量
- 人参：1 円玉くらいの大きさ（茹でておく）

顔を作るのに必要な道具

- 市販の海苔パンチ
- ピンセット
- ストロー
- 調理用はさみ
- 飾り用の旗
- 料理用ラップ

1

ご飯にデコレーション用のふりかけをまぜまぜ♪
ぼくと同じ黄色だよ！

Point!

混ざったら、頭・手・足をラップでまとめて作っておくよ。

2

油揚げの中に
①のご飯を詰めちゃお～！

ご飯を詰めた油揚げの上に、
バランスよくのる大きさで
ぼくの頭・手・足をのせてね♪

3

5

Point!

人参はストローを使って
丸く抜きとろう～♪
これが鼻になるよ！

4

市販の海苔パンチを使って
目と口を作るよ！
海苔パンチがない場合は、
はさみでカットしてね♪

6

ご飯で作った頭に、
目・口・鼻・
おなかのポッチをつけよう！

まだかな～？
ワクワク…！

完成したら！

お名前と一緒にぼくに送ってね♪
ブログや FB で紹介するよ！

送り先は
p-kun@p-ark.com だよ。

Point! 写真の枠いっぱいになるように撮ってね！
真上から撮るとキレイに写るよ(○＾∀＾○)★

みんなの力作待ってるよ！

できあがり～♪

7

全部のパーツを
のせたら…
完成ですぅ♪

このレシピを教えてくれたのは…

大沼 かつ子さん
セカステ総合研究所株式会社

大学を卒業後、研究機関への所属を経て出産とともに現在の会社へ。現在３児の母親でありながら、公務員採用情報サイト『ドリカフェ』の運用を一手に行っている。好き嫌いの激しい子どもに好き嫌いをなくすことと、ママの調理時間短縮を目的とした時短キャラ弁レシピを講義する。
ドリカフェ（http://dreamcafe.jp/）

行ってきました！

福島県須賀川市 × すかがわ市M78光の町

Fun for Life を求めて vol.13

街のアチコチに、有名なあのヒーローが現れたという情報をキャッチしました！それも、商店街だけでなく駅や空港にまで。WEBで調べたら、えーっと…、んっ?! すかがわ市 M78 光の町!?　なにやら Funな匂いがぷんぷんします。これはもう行ってみるしかない、せーの、シュワッチ!!

渡邉さんと記念写真をパチリ。

須賀川物産振興協会　渡邉常務理事

到着したのは福島県須賀川市。ここは、屋上農園「Pガーデン」はもちろん、景品や物販などでお世話になっている街だよ。まずは…須賀川の物知り名人、渡邉さんのところへ行ってみたいと思います♪

ピ） 渡邉さんお久しぶりです!須賀川市が「光の町」でシュワッチだって聞いて来たんですが、何のことだか分かりますか?

渡） ピーくんよく来たね。あぁ、そのことなら、まずは市役所の観光交流課に行ってみるといいよ。

MAP B

円谷監督生誕地碑

円谷監督の生家跡に建つ生誕碑。ウルトラマンやウルトラセブンも一緒に刻まれているんだ。凄いオーラを感じます！

MAP A

JR 須賀川駅

鉄道旅での入口、須賀川駅。ウルトラマンの大きなモニュメントが迎えてくれるよ。

© 円谷プロ

MAP C

はたけんぼ

東北最大規模のファーマーズマーケット。地元の新鮮で安心、安全な野菜や果物が所狭しと並んでいるよ。美味しそうなものばかり。ぼくの大好きなコロッケパンは、ないかなぁ〜?

MAP D

須賀川市産業部観光交流課　安藤課長
須賀川観光協会　観光推進員　加藤さん

ピ） はじめまして安藤課長、加藤さん。須賀川がウルトラマンで盛り上がっていると聞いてやってきました。ところでどうして、須賀川でウルトラマンなんですか?

安） 須賀川市は、「特撮の神様」と呼ばれる円谷プロダクションの創業者・円谷英二監督の出身地です。そんなご縁で、今回の取り組みが実現しました。キッカケのひとつは、東日本大震災です。内陸部の街ですが、市役所庁舎や学校、商店街もひどい被害に遭いました。そんな折、「子供達の未来のために力になりたい」と円谷プロから声をかけていただき、最初はオリジナル商品などを検討していたのですが、事業として取り組んではどうかと、そこで始まったのが、ウルトラマンの故郷「M78 星雲」と、「須賀川市」が姉妹都市になるという壮大な構想でした。当時、市長は、震災のピンチをチャンスに須賀川の元気を発信していきたいという思いで活動しており、ウルトラマンの発信力が応援してくれるこの機を逃す手はないと、街なかや WEB 上でのウルトラマンエンターテインメントな街づくりが始まりました。

加） 現在、街中には 5 体のウルトラマンや怪獣のモニュメントがあります。怪獣のモニュメントがあるのは、須賀川だけなんですよ! WEB 上の仮想都市「すかがわ市M 78 光の町」では、ウルトラの父が町長を務め、住民を募集しています。また、須賀川の様々な行事をお知らせしたり、フォトコンテストを開催したり、ここでしか見られない「光の町」のニュースも配信しています。住民票も発行しているんですよ!年々魅力あるコンテンツになっていますし、実は、私もピグモンのお姉さんとして広報活動してますので是非みてくださいね。

安） 実はここに至るまでには、20 年に渡って須賀川と円谷さんを結び続けてくれていたサークル「シュワッち」の存在があります。実現できたのもこの団体の力が大きいです。そういえば今日、シュワッちさんが須賀川ならではの大きなイベントを行っています。それから福島空港にもウルトラマンがいっぱいですよ。

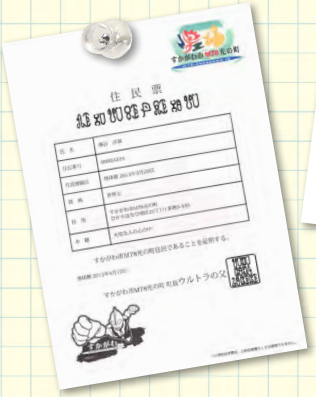
ピ） シュワッちさんと福島空港ですね!この後行ってみます!ところで、街の皆様の反応はいかがですか?

安） みんな大好きなヒーローなので反応も良いですし、ウルトラマンをきっかけに足を運んでくれる人が増えて喜んでいます。これまでは実現スピードを重視してやってきましたが、これからは皆様の声をドンドン取り入れて進めていきたいと思います。

ピ） 安藤課長、街を楽しくするコツを教えてください。

安） 自分たちが楽しみながらやるコトですね。「楽しくなきゃ続かない。楽しんでなきゃ伝わらない」そう考えています。そして、「うちの街にはこういうものがあるんだぞ!」と自慢したいし、「須賀川って楽しくない?」って思っていただくためにやってますね。

ピ） 安藤課長、加藤さん、ありがとうございました。次は空港に行ってきます!



▲取材を受ける安藤課長（写真向かって右）と加藤さん（写真中央）
◀希望者に交付される「光の町」の住民票

かっぱ麺

須賀川岩瀬産のキュウリの搾り汁のみで練り込んだ薄緑色の麺。キュウリをメインにした具をトッピングし、特製味噌とダシ汁で食べるヘルシーな麺料理。とっても美味しかったよ。

物語ボックス

須賀川の郷土史を学べる物語ボックス。市内24箇所に設置されていて、読みながら街を散策すれば須賀川博士に！

MAP E

服部ケサ顕彰碑（岩瀬公立病院敷地内）

「服部ケサ：明治 17（1884）年生まれ。当時としては珍しい女性医師として活躍。不治の病といわれたライ病（ハンセン病）の治療に向かい合い、日本人として初めてのライ病患者専門の『鈴蘭病院』を開業、その治療に一生を捧げた」。ふむふむ。スゴイ人なんだね！

福島空港

福島県の空の玄関口福島空港。空港内の至る所にウルトラヒーローや怪獣、撮影に使用したグッズが展示されているよ。

空港の外には、ウルトラマンポストが!!
ここや市内の６郵便局からハガキをだすとウルトラヒーローの風景印で届くよ！

© 円谷プロ

次はいよいよ、「シュワッチ」さんに行ってみよう!

シュワッチ!!

サークル「シュワッチ」 山田 代表

ピ） こんにちは山田さん。凄い数のお客様ですね!

山） こんにちは、ピーくん。丁度良い日に来たね。今日は、「ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ 2015」というイベントの日で、今回で 16 回目です。円谷プロダクションさんに、「円谷監督の生まれ故郷の須賀川で、全ヒーローが勢ぞろいするイベントができないか?」と相談したところ、「毎年、継続して実施するなら」という条件で実現しました。もともと、このサークル「シュワッチ」は「円谷さんの功績を後世に伝え、ウルトラマンで町興し」を目的に約 20 年活動していて、幼稚園や街なかでのイベントを通して、気軽にウルトラマンとふれ合えるような活動をしています。その成果か、須賀川の子どもたちはヒーローショー慣れしていて、握手会での整列もとっても早いんですよ（笑）。そんな活動を続けていたら、福島空港を運営している県から「空港でウルトラマンの常設展示が出来ないか」とお話を頂きました。すぐに円谷プロダクションさんに話をして実現。これが後々、姉妹都市提携などの企画に繋がっていきました。今ではJR須賀川駅でもキャンペーンを実施してくれるようになりました。須賀川に来たら、どこに行ってもすぐにウルトラマンに会える、怪獣に会える街にしたいです。いずれは円谷英二監督ミュージアムも創りたいですね。

ピ） 人の輪を広げていくコツは何ですか?

山） 周りを巻き込むコツは、続けていくことです。その姿を見て、街の人も行政も応援してくれて、ここまで大きくなったんだと思います。「シュワッチ」はボランティア活動で、大変なコトも多いですが、会場に来てくれた子どもたちの楽しんでる姿を見るととても幸せな気持ちになる、これが全てですね。

ピ） 山田さん、ありがとうございます。これからもウルトラマンの輪が大きくなるコトを楽しみにしてます!

山田さんと記念写真をパチリ。

ウルトラファミリー大集合 IN すかがわ２０１５の会場。今年も大盛況でした。

怪獣シルエットわかるかなあ？

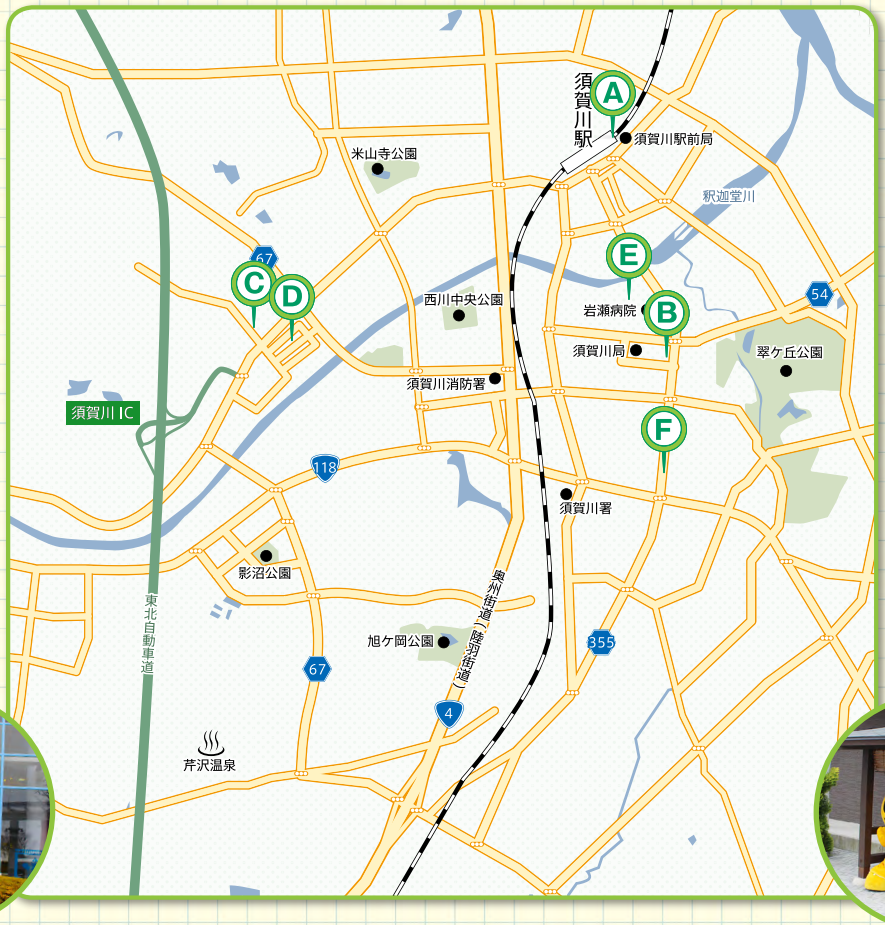
© 円谷プロ

MAP F

街の平和を守るウルトラヒーロー

須賀川の中心街・松明通りにウルトラマンや怪獣たちのモニュメントが。なかでも怪獣のモニュメントがあるのは須賀川だけだそうです。

須賀川 MAP



○ピーくんの考察○
～須賀川のFunの秘訣～

①地元愛
②どんなことも楽しく継続
③スピーディーに、まず実行
（早くしないとウルトラマン帰っちゃうもんね）

再度、渡邉さん

ピ） 渡邉さん、ただいま！　取材を通じて須賀川は、楽しみ上手な人ばかりだと感じました。ところで、渡邉さん、次は、何のワクワクを考えてますか？

渡） 銀座ミツバチプロジェクトさんにアドバイス頂いて、須賀川ハチミツを作ろうと思ってるんだよね。ハチミツが取れることでの須賀川の安心安全をアピールできるからね。そしたらピーくん、またおいでね！

He's a Fan

楽しみのヒント、みーつけたっ

福本　謙次さん

初詣（富岡八幡宮）。「見事"大吉"も、勝負運は別物です」

ストレスをリセットするボタン

——プロフィールを教えていただけますか。

広島県出身なんです。幼少時代はごくごく普通の子どもでしたね、野球に陸上、元気よく野山をかけずり回ったかと思えば、家に帰っては友達とファミコンをやったりしていました。大学への入学を機に関東に移住し、以来ずっと関東に住んでいます。

——大学ではどのようなことを学ばれていたのでしょうか？

大学では建物工学の勉強をしていました。ただ、住宅の構造建築ではなく、巨大な構造物が専門なんです。具体的には、ダムや堤防といったものです。

——その研究ですが、具体的にどんな実験をしていたのですか？

そうですね、プールにダムや堤防の模型を設置し、そこに人工的に発生させた波を当てて、ビデオカメラで撮影したものを検分していました。波の動きや強さによって、構造物に加えられるエネルギーの影響を調べたり、構造的にどのような変化が起きるのかをひたすら追い求めていましたね。

——国の予算が割り当てられる研究室もありますよね、毎日下宿と研究室の行き来になったりはしないんですか？

いやそのようなことはありませんでした。学生らしい時間の過ごし方もありましたね。自動車の免許をとろうと決めて教習所に

通ったり、学科と実技の合間に近くのパチンコホールに出かけて行ったりもしました（笑）。

――大学の修士課程も終えて、某通信会社にお勤めになられたんですね。今のお仕事のことを聞かせてください。

今の仕事は、大企業のメインフレームに関わるプログラミングを担当しています。

――なるほど、とてもストレスがかかるお仕事なんじゃないですか？

そうですね、多くの利用者を対象としたシステムでは、システムトラブルは、時として責任問題や訴訟問題に発展するリスクがありどんなに小さなバグも許されません。しかし、想定外のことが起きたりもします。２０００年問題などは最たるものだと思いますが、自社の信用もかかっていますから、定義書を何度も繰り返し確かめることもよくあります。気苦労は絶えませんね。

――ストレスをためない方法は？

学生時代に研究に没頭しすぎては、気分転換に友人とパチンコホールによく出かけました。もちろん学生ですからちょっとしたお小遣い稼ぎもかねてですが、14時間並んだこともありました。昔の攻略雑誌などは今でもスクラップブックに閉じてありますね（笑）。

今は、結婚してライフステージが変わりましたので、仕事・家庭・育児が生活の中心で、ホールに行くのはほんとに稀です。でも今は、学生当時とは比べられないほど施設環境が改善され、お客様一人ひとりに対する接遇サービスが格段に向上しているように感じています。

――福本さんにとってホールの存在とは、今どのようなものでしょうか。

自分だけの時間、自分だけの空間、ちょっとした刺激、何かを考えているようで、実は考えていないような「あいまいな思考の時間」があります。その時間というのは、僕の頭の中にはびこるストレスという難解なプログラムを一旦クリアにする「リセットボタン」なんです。

――なるほど、面白いたとえですね、現代社会にはびこるストレスを消去できるリセットボタンですか。今日は面白い話を聞かせていただきありがとうございました。

Profile

福本（ふくもと）　謙次（けんじ）さん

江戸川区在住

国立大学院卒業後、
某通信メーカー勤務
プログラマーとして
活躍中

コロッセオ（ローマ）。「いまだに巨大建造物を見ると大学時代を思い出しますね」

ありがとうの絆

創業から大切にしている言葉「ありがとう」。ピーアークでは、「ありがとうが溢れる会社」になるためにお客様・仲間・地域の方々から頂いた「ありがとうエピソード」を全社員で共有しております。2014年度も29,231件のエピソードが集まりました。また、集まったエピソード数と同数のワクチンを世界の子どもに届ける「1ThankYou 1ワクチン」の活動も実施しております。これからも「ありがとう」の絆を拡げていきます。毎月届くエピソードの一部をご紹介いたします。

ふれた手が教えてくれた「ありがとう」

カウンターで景品をお渡しした際に、触れたお客様の手がとても冷たかったので、空調が効きすぎていないかお伺いいたしました。やはり寒かったようで、お客様が再遊技されているコースの空調を見直し、お客様に寒くないか確認したところ「わざわざありがとう！」ととても喜んでくださいました。お帰りの際に「あの後は寒くなかった。ありがとう」と伝えに来てくださいました。

ピーアーク谷塚　下地 里奈

3つのお菓子で「ありがとう」

グランプリ

以前「（景品交換の）余りは全部お菓子で。子供たちにあげるから」とお話ししていたお客様がカウンターにいらっしゃいました。今日も余りはお菓子とのことで、以前“子供たち”とおっしゃっていたのを思い出し、お子様の人数を伺いました。すると、なんと三つ子ということでした。同じお菓子を３つと、袋の中で小分けされているお菓子をお取りしました。「これでケンカしなくてすむよ。ありがとね」とお言葉を頂きました。後日、そのお客様がご来館し「この前、おかげでケンカにならなかったよ。」とお話しいただきました。その日も景品交換の際にお菓子の希望があったので、前回とは違ったお菓子を今度はお客様と一緒に選びました。駄菓子だとたくさん取れることなどお話ししながら、数多くの景品を選んでいただき「次回もよろしくね。ありがとう」とお帰りの際に頂きました。

ピーアークスタジオ３.４　佐藤 ひと美

手のひらから聞こえた「ありがとう」

お話しすることが出来ない男女２名様の景品交換を対応させていただきました。景品の数を指で作ってお伝えしたり、交換出来るお菓子を何種類か前に出して選んでいただいたり、「飲物とお菓子どちらが良いでしょうか？」を自分なりのジェスチャーでお伝えしたところ、お二人ともニッコリして対応してくださいました。最後に景品をお渡しすると、男性のお客様は手を振ってくださり、女性のお客様は左手の甲に右手を落とすような動作を見せてくださいました。お二人とも終始ニコニコされていたので喜んでいただけたんだろうなと思ったのですが、女性のお客様の動作が気になって調べると、手話で「ありがとう」という意味でした。それを知って、さらに嬉しくなりました。

ピーアーク千葉デジタルタウン　熱田 美穂

クレームからの「ありがとう」

台トラブルで大変お怒りのお客様を対応しました。しばらくお話をしていると「君と同じくらいの年の息子がパチンコ店で働いていて色々知っている」というお言葉から雑談をさせていただき、少しずつお怒りは鎮まったようでした。対応を終了する際に「息子と同じくらいのやつに色々言って悪かったよ。」と。「また何かございましたら私がすぐに参ります！」とお伝えし「ありがとう」を頂きました。

数日後、そのお客様が来館されました。笑顔で「この前はごめんな。帰って息子に怒られたよ。」と、ご自宅でのやり取りなどお話しくださいました。私からも、あらためて「先日は、大変申し訳ございませんでした。そして本日もご来店いただきありがとうございます。私は２階におりますのでいつでもお呼びください。」とお伝えし、「ありがとう」を頂きました。その後も顔をあわせるたびに、小話や笑顔を頂いております。

ピーアークスタジオ１.２　関口 裕介

素敵なお誕生日に「ありがとう」

ある日、常連のお客様から「前は誕生月になるとハガキが来てたけどもう来なくなったのね…」と残念そうなご様子でした。「お誕生日、今月なのですか？」と伺うと「そう！18日」と教えていただき、その日の会話は終えました。その後、「何か出来ることはないかなぁ？」と考え、手書きでお手紙を書くことにしました。そして、なるべく接点も探して私を覚えていただくことに注力しました。あいにく誕生日の当日、私が休みだったので、他のスタッフから手紙をお渡ししても（私の）顔が浮かぶようにしたかったからです。当日、社員さんから渡していただき、後日いらっしゃった際に会いに行くと「お姉さん!!」とお客様から声を掛けてくださいました。そして「お手紙ありがとう。本当に嬉しい。素敵なお誕生日になりました。本当にありがとう。」と今まで見たことのない笑顔とありがとうを頂きました。

ピーアーク三田　高久 美知子

千羽鶴での「ありがとう」

昔からのお客様が久しぶりに来店されました。お話を伺ったところ旦那様が大きな病気で入院されているとのことでした。いつもスタッフに笑顔でお話をしてくださるお客様に、店舗の皆で「何か出来ないかな？」と考え千羽鶴を作ることにしました。後日、店舗前で再びお会いすることが出来ました。「お父さんも頑張ってるから、私も頑張らなきゃ」とお話をしていたので「皆もついてますよ！一緒に頑張りましょう」と千羽鶴をお渡ししたところ、泣きながら「ありがとう」と喜んでくださいました。

旦那様も回復傾向にあり、徐々にリハビリを進めていく予定とのことでした。皆で一つひとつの鶴に思いを込めて作った結果が少しでも届いたかと思うと本当に良かったです。

ファンパチンコピーアーク　スタッフ

第５回 Funエピソード 年間グランプリ表彰式

全店から毎月集まる「ありがとう」が詰まったFunエピソード。その数、年間約３万件。その中からアルバイトスタッフを含めて全スタッフの投票で決定する年間グランプリ。その表彰式が2014年12月２日に執り行われました。今回のグランプリは、景品交換対応でお客様から「ありがとう」を頂いたピーアークスタジオ3.4佐藤ひと美さんです。準グランプリは、ピーアーク千葉デジタルタウンの熱田美穂さん、店舗特別賞はピーアークユーカリが丘スロットマーケットの皆さんに決定しました。

「あなたの夢叶えます！」レポート

～ 夢 の 途 中 ～

第４回　年間グランプリ受賞
小林　美幸

前回、年間グランプリを受賞した小林さん。彼女の夢は、ホームネイルの仕事をすること。ピーアークで学んでいる接客技術を活かして、“ママになっても子どもと一緒に働ける”そんな未来のために頑張っています。先日、夢の第一歩としてネイリスト技能検定３級に合格しました。これからもピーアークは、夢に向かって頑張る小林さんを応援します。

PARK NEWS

2014年12月～2015年5月

ラフェスタ 店舗対抗ピーくん着せ替えコンテスト

キレイな花壇でお出迎え

おゆみ野、長沼

GW Ganbatta Week

ステージ

こだわりスイーツ販売

銀座、長沼、おゆみ野 ハッピーサプライズ一色!

ファンパチンコ草加

ピーくんも頑張りました!

所沢、銀座 マジックを披露♪

綾瀬＆草加エリア

近隣清掃で WOW!

春日部

ピーくんとハイ、チーズ♪

デジタルタウン

縁日スタイルで賑やかし!

せかワクぶっく

2014年12月8日～2015年1月25日

店頭・店内で本の寄付を呼びかけ、売却益を認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会に寄付しました。

ポリオワクチン 2,436人分

あなたの笑顔が、がんばる元気に with you

ピーくんチャリティー寄付報告

2014年3月～2015年2月

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会 **201万5084円**

長野県王滝村 ＋1の森プロジェクト **101万4372円**

被災地の放課後学校 “コラボ・スクール” **100万6220円**

Calendar

2014年 12月
2015年 1月
2月

2月22日

東京マラソン 2015 チャリティランナーとして5名が参加

自ら立候補した5名が、お揃いのスペシャルオリンピックス日本Tシャツに身を包み、活動をアピールしました。結果は全員完走おめでとう!

2月23日

みんなの夢 AWARD5 に協賛、夢を追いかける人を応援！

みんなをワクワクさせるすてきな夢を紹介し、世界に夢を増やす日本一の夢の祭典が日本武道館で開催!

3月
4月

4月1日

入社式実施。19名が仲間入り

ピーアーク号に新たなクルーが乗船!フレッシュなパワーでピーアークに新たな風を巻き起こすことに期待!

4月26日

第10弾CM「みんなで、次のワクワクへ。」編スタート

テーマは「ハッピーサプライズぞくぞく!」思わず WOW !となるような楽しさを提供していきたいという想いを込めました。

5月

5月3日～5日

ピーアーク presents 幕張メッセ“どきどき”フリーマーケット 2015

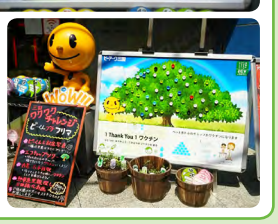
スポンサードは13回目。今年も20万人以上の来場者から笑顔が溢れた3日間になりました。

GP 青井

風船ラッピングでワクワク

三田

キャップアート風にエコキャップ呼びかけ



南行徳

地域イベントに参加

草加

我らおもてなし隊！

編集後記

今期のブランディングメッセージ「みんなで、次のワクワクへ。」にもある“ワクワク”という言葉。由来を調べてみると、地面から温泉が“わく”、会場で観客が“わく”、勝利にチームが“わく”、そんな言葉からうまれたそうです。“わく”とは、なにも無い状態から急激に現れることで、エンタメ原人ピーアークの“ゼロからイチを生みだす”にも通ずる言葉だと気付かされました。

さて今号では、チームメンバーやお客様、街の人々に“ワクワク”をお届けする達人を訪ね登場いただきました。職種、業種、年齢、性別など様々ですが、皆様から共通して「コツは、自分自身が楽しんでやること」といった言葉を頂きました。楽しんでやっている姿が、周りを惹きつけ応援者を増やし、かつ自身が継続して取り組めるのだと。新たなことを生み出すための奥義とも感じました。

毎度、ワクワクしながら編集する本誌ピーアークコーポレートブック「Fun for Life」も、おかげさまで7年目をむかえました。お伝えしたいコトをモットわかりやすく表現する方法を検討した結果、単純ではありますが大きな誌面といたしました。これからも“Fun for Life”を追い求め、そのエッセンスを込めてお届けしていきます。次号の編集に、すでにワクワクしてます。ご期待ください。　（編集長　奥谷洋章）

パチンコを、その先へ。
ピーアーク

WOW!!

ハッピー
サプライズ
そくそく！

みんなで、次のワクワクへ。
ワクワクチャレンジ実施中！

FSC・水なしインクマークが入ります

VEGETABLE OIL INK

Fun for Life Vol.13(通巻51号)2015年6月19日発行　発行●ピーアークホールディングス株式会社　〒104-0061 東京都中央区銀座6-13-16　銀座ウォールビル11F